

【第1号議案】

令和6年度事業報告案

1 概要

【概況】 令和5年度の年間入館者数はコロナ禍前の7000人台を回復したが、6年度は5400人弱に大きく減少した。前年の特別展「會津八一と棟方志功」は4000人以上を集めたが、昨年の「會津八一と大和路」は1900人とどまったことが大きく影響した。一方、野中館長自ら企画から展示までプロデュースした夏の企画展「鐵齋・八一の文人世界」は1500人を超え、企画展としては盛況だった。春と冬の企画展を合わせた3つの企画展では3500人ほどで例年を上回った。

【特別展】 令和6年度は八一と、彼の芸術に心酔し、親交を深めた写真家・入江泰吉と画家・杉本健吉の3人がこよなく愛した奈良大和路を題材とした作品を展示した。杉本は八一との書画集「春日野」を刊行し、入江は八一の短歌と自ら撮影した写真を組み合わせた書籍を出版するなどそれぞれの交流ぶりを紹介した。入館者数は2000人に満たなかったが、入館者アンケートによれば、展示に対する評価は高く、満足度は高かったといえる。

【企画展】 春は「秋艸堂に集う文化人たち」。孤高の文人と言われながら、自宅を「秋艸堂」と称し、多くの文化人との交流を深めた八一の意外な一面を紹介した。夏は上記の通り、野中館長が「鐵齋・八一の文人世界」を企画し、これまで対比されることのなかった、個性あふれる二人の芸術家の多様性を紹介した。斬新な企画が功を奏し、新規の来館者を多く集めることができた。冬は「八一を知る 八一がわかる」のシリーズ第4弾。八一芸術の要といえる「書」を取り上げた。左利きだった八一が筆を右手に持ち替え、独自の習練法を考え、日本や中国の古典研究を踏まえて獨往の書人として大成する過程を追った。

【八一祭】 2回目の高校生拓本大会を開催。県内7校から50人ほどが参加した。前年同様、事前に採拓の練習ができる用具を貸し出すことでスムーズな大会運営ができ、市外の高校にも参加してもらった。

【普及活動】 絵手紙、年賀状、篆刻をテーマに「書の体験講座」を開催した。いずれも実際に自分で作品制作を体験できたことで満足度は高かった。

【クラウドファンディング】

令和7年4月1日は會津八一記念館が新潟市西大畑に開館してから50周年を迎える。記念館では開館50周年を記念し、伝記の出版や著名な講師を招く連続講演会などを開催する。このための資金をクラウドファンディング(CF)で2月1日から年度末にかけて150万円を目標に募集した。支援額は164万円で目標を達成した。またCFの趣旨に賛同し、直接記念館口座に寄付金を入金する企業や窓口で納める個人など、CF以外のも40万円近い寄付があり、総額では200万円を超えた。

2、事業の内容

(ア) 展覧会事業

常設展経費 2,891,772 円 (5年度=2,491,773 円=比 16%増)

特別展経費 3,998,751 円 (5年度=3,784,711 円=比 5.6%増)

	5年度 入館者数	5年度 開催日数	5年度 入館累計	6年度 入館者数	6年度 開催日数	6年度 入館累計
4月	304	24	304	256	25	256
5月	415	26	719	348	27	604
6月	415	22	1,134	241	20	845
7月	305	24	1,439	476	26	1,321
8月	317	27	1,756	455	27	1,776
9月	307	21	2,063	572	26	2,378
10月	1,600	25	3,663	866	27	3,214
11月	1,804	26	5,467	837	26	4,051
12月	815	17	6,282	274	17	4,325
1月	280	24	6,562	283	24	4,608
2月	346	25	6,908	265	24	4,873
3月	354	21	7,262	502	20	5,375
合 計	7,262	282		5,375	283	

6年度観覧料収入=総額 1,637,440 円 (前年度比 817,310 円減)

特別展：634,220 円 (同 895,530 円減) 常設展：1,003,220 円 (同 78,220 円増)

【特別展】

會津八一と大和路 入江泰吉・杉本健吉とともに

会 期：令和6年10月1日（火）～12月8日（日） 開催日数 60 日間 図録 112 冊販売

会 場：新潟市會津八一記念館

入館者数：1, 900 人（前年度＝「棟方志功生誕 120 年 會津八一と棟方志功 - 知性と感性 - 」4, 154 人）

主 催：公益財団法人會津八一記念館、新潟市、新潟日報社、BSN 新潟放送

協 力：浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

後 援：朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、
日本経済新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、
NHK 新潟放送局、NST 新潟総合テレビ、TeNY テレビ新潟、UX 新潟テレビ 21

會津八一の奈良大和路を表現した歌と書に合わせて、画家・杉本健吉（1905～2004）、写真家・入江泰吉（1905～1992）の作品資料を一堂に会した展覧会。入江と杉本は八一の学芸に心酔し、奈良大和路をテーマに多くの名作を残している。本展では入江の作品を収蔵する入江泰吉記念奈良市写真美術館と、杉本の奈良関係の作品を多く所蔵する奈良県立美術館の協力を仰ぎ、會津八一との関連作品、三者各々が独自の感性で表現した奈良大和路の美を紹介した。杉本が終生大切に所蔵していた写生帖「骨皮帖」に八一の短歌が書き込まれているスケッチなど、珍しい作品も新潟で初公開した。当館で人気の奈良をテーマにした展覧会で、評価は好評 97%と高かった。一方で、来館者から杉本健吉、入江泰吉を初めて知ったという声を直接聴くこともあった。

【企画展】

① 會津八一と秋艸堂に集う文化人たち

会 期：令和6年4月4日（火）～6月25日（日）

開催日数：72 日間 簡易図録 38 冊販売

入館者数：845 人（前年度＝春「八一を知る八一がわかる-短歌編-」1, 134 人）

当館が収蔵する作品資料から、會津八一と文化人との多彩な交流を示す作品資料を中心に展示。八一の自宅・秋艸堂に出入りした歌人・吉野秀雄や、編集者で文筆家の料治熊太、文芸評論家・亀井勝一郎、医者で歌人の中田瑞穂、文人・淡島寒月、軍人・山内保次、画家・長井亮之などの作品資料や、合作を紹介した。また、土門拳が撮影した八一の肖像写真と書簡、篆刻家・山田正平が八一没後に書いた墓碑銘「渾齋秋艸道人墓」なども展示した。来館者アンケートを見ると、展示の評価は高く 96%の好評を得たが、年齢層が高く 60 代以上が 73%だった。會津八一だけでなく、八一が関係した文化人も歴史化され、その活躍も風化してきている。幅広い年齢層の来館者が関心を持てるような、門戸が広く見えるタイトル、内容の工夫が必要かもしれない。

② 野中吟雪館長プロデュース 富岡鐵齋没後 100 年記念 鐵齋・八一の文人世界

会 期：令和6年7月2日（火）～9月23日（月振休）

開催日数：73 日間 図録 75 冊販売

入館者数：1, 503 人（前年度＝夏「越後の豪農 北方文化博物館と會津八一」924 人）

近代日本画の巨匠富岡鐵齋（1837～1924）の没後 100 年を記念し、本展は、鐵齋研究の第一人者である野中吟雪館長のプロデュースで、八一と併せた二人の「文人世界展」を企画。掛軸や扁額、画賛・扇面など、さまざまな作品を一堂に展示。個性豊かな二人の芸術家が何を考え、どう表現したのか、作品を通してその多様性を紹介した。

アンケートによれば、期間中、当館を初めて来館した人が46%とあり、鐵齋の作品を目当てに来た人が多かったようだ。また、鐵齋と八一を対比した企画が今までになく、接点のない二人には、じつは多くの共通点があったことに新鮮さを覚えるほど、満足度の高い展示だった。

③ 八一を知る、八一がわかる 独往の書の秘密

同時開催：第 18 回秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選作品展

会 期：令和6年12月17日（火）～令和7年3月23日（日）開催日数 78 日間。簡易図録 172 冊販売

入館者数：1, 127 人（前年度＝冬「中田瑞穂生誕 130 年記念詩書画の美 - 會津八一と中田瑞穂 - 」1, 045 人）

會津八一を初めて知る人に向けた入門編「八一を知る 八一がわかる」シリーズ第 4 弾。今回は、八一芸術の要となる〈書〉をテーマに企画。展覧会では、八一の現存最古の 15 歳の文字から 75 歳のときの絶筆に至るまでの作風の変化を、八一の生涯とともに紹介。また、今回、八一が書の学び方を解説した原稿「嶧山碑学習要領」を初公開した。とくに、絵手紙を趣味とされている方々から展示パンフを大量に注文をいただくなど、反響があ

った。また、八一の書を年代順に展示したことで、書体の変化が良く理解できたとの感想をいただいた。

(展示に対する評価) = 入館者アンケート結果 (○は好評、△は不評)

回答者 412 名 (回答率 7.7%) ※前年 539 名 回答率 7.4%

展覧会名	作品解説の評価	展示量の評価	全体的評価
會津八一と大和路	○ 93% △ 6%	○ 87% △12%	○97 % (とても良かった 71%、良かった 26%) 普通 2%
秋艸堂に集う文化人	○ 91% △ 7%	○ 89% △11%	○96% (とても良かった 58%、良かった 38%) 普通 4%
鐵齋・八一の文人世界	○ 88% △ 10%	○ 86% △12%	○92% (とても良かった 60%、良かった 32%) 普通 6%
八一がわかる-独往の書-	○ 91% △ 7%	○ 91% △ 7%	○95% (とても良かった 70%、良かった 25%) 普通 3%
合計	○ 90.8%△7.5%	○88.3% △10.5%	○95% (とても良かった 64.8%、 良かった 30.3%) 普通 3.8%

(接客に対する評価) 良い 72.3% 普通 24.8% 悪い or 無回答 3%

(主な来館者) ※当館理事、評議員は除く

4 月 = 新潟芸術文化振興財団・徳永健一理事長 (2 日)、書家・佐藤雅風氏 (4 日)、新潟県立江南高校・泉田教諭 (6 日)、版画家・吉田志麻氏 (7 日)、日本絵手紙協会公認講師・高山久美子氏、新潟東高校教諭・小川貴史氏 (14 日)、新潟日報新人研修、作品寄贈者・福田謙氏夫妻、書家・山田修也氏 (16 日)、作家・内田義雄氏 (19 日)、書家・金子達雄氏 (21 日)、新潟第一中学・高校教諭・星憲一郎氏 (27 日)

5 月 = 文信堂書店会長・西村俊男氏 (5 日)、書家・大井岳陵氏、樋口志保氏 (8 日)、書家・菊田竹子氏 (9 日)、書家・今井昭友氏 (12 日)、新潟絵屋・田代早苗氏 (14 日)、東京外国語大学名誉教授・村尾誠一氏 (18 日)、新潟第一高校校長・藤澤健一氏 (19 日)、書家・江川蒼竹氏 (25 日)、元敬和学園大学教授・北島藤郷氏 (26 日)、栃尾美術館・須佐志保様 (31 日)

6 月 = 書家・三膳春雪氏 (4 日)、書壇院・町田玄洞氏、桑山戯魚氏 (9 日)、新潟市立新津第二小学校教諭・大田博之氏 (11 日)、書家・富所白象氏 (16 日)、BSN 元社長・竹石松次氏 (22 日)

7 月 = 書家・佐藤奎玉氏 (7 日)、良寛会会長・小島正芳氏 (18 日) 新潟県立長岡農業高校教諭・小黑哲也氏 (31 日)

8 月 = 新潟県立近代美術館学芸員・松矢匡憲氏、借用者・若林正博氏夫妻 (4 日)、新潟市立鳥屋野中学校教諭・高岡チエ子氏 (17 日)、書家・田中藍堂氏、早稲田大学名誉教授・那須壽氏 (18 日)、絵手紙協会会長登坂氏 (22 日)、上越市立歴史博物館・小川陽子氏 (24 日)、前良寛会会長・長谷川義明氏 (29 日)

9 月 = 書家・安藤豊邨氏、新潟市芸術文化会館・木澤美恵子氏 (8 日)、市島邸・伊藤智子氏、新潟薬科大学・青木実和子氏 (14 日)、岐阜女子大学教授・住川英明夫妻 (16 日)、美術評論家・横山秀樹氏 (20 日)、もろはし美術店諸橋保氏 (22 日) 書家・小林哇水氏 (23 日)

10 月 = 写真家・鈴木孝枝氏 (5 日)、寄贈者・上村旭氏、新潟市立赤塚中学校教諭・安達氏 (6 日)、書家・小川和恵氏 (9 日)、會津八一の縁戚・引田道人氏 (12 日) 新潟市立木崎中学校教諭・田澤真弓氏 (27 日)、入江泰吉記念奈良市写真美術館主任学芸員・説田晃大氏 (29 日)

11 月 = 書壇院・和田紫陽氏 (21 日)、寄贈者・長道雄氏 (26 日)、声学家・小川恒子氏 (26 日)、写真家・浅井慎平氏、飛鳥園カメラマン・若松保広氏 (26 日)、書家・木下慶香氏 (29 日)、

12 月 = 寄贈者・村山比呂美氏 (7 日)、画家・遠藤信氏、俳優・本多菊雄氏 (19 日) 書家・成田沙夕氏 (20 日)

7 年 1 月 = 雪梁舎美術館理事長・捧実穂ご夫妻 (5 日)、考古堂会長・柳本正氏 (19 日)、新潟県立新潟向陽高校教諭・佐藤雄司氏、元新潟県知事・平山征夫氏 (25 日)、フリーアナウンサー・中津川英子氏 (31 日)

2 月 = シネウインド・井上経久氏 (14 日)

3月＝書家・渡辺春虹氏（7日）、新潟県書道教育研究会・丹羽信男氏（9日）、新潟県立新潟商業高校教諭・高谷広子氏（9日）、元新潟県立文書館副館長・本井晴信氏（14日）、湯布院健康温泉館館長・後藤陸文氏（16日）、書家・石塚瑞雨氏、シネウィンド・春川京子氏（18日）早稲田大学會津八一記念博物館館長・肥田路美氏（19日）、新潟市立木戸中学校教諭・本間隆之氏（20日）、新潟市立小新中学校教諭・萩原誠一氏（22日）

(イ) 講演会事業

【記念館自主企画】

八一祭 高校生拓本大会（無料）

講演者：喜嶋奈津代（新潟市會津八一記念館主査学芸員）、小黑哲也氏（新潟県立長岡農業高校教諭）

日 時：令和6年7月31日（水）午前9時～午後12時

会 場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

参加者：49人（新潟県内の高校7校）

特別展関連イベント①

トークイベント（有料1,500円）

テーマ：「響き合うこと」

対 談：松村雄基氏（俳優）、角田勝久氏（新潟大学教授）

日 時：令和6年10月19日（土）午後2時～3時半

会 場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：89人

特別展関連イベント②

記念講演会（有料1,000円）

テーマ：「入江泰吉と杉本健吉の大和路」

講演者：説田晃大氏（入江泰吉記念奈良市写真美術館主任学芸員）

日 時：令和6年10月29日（火）午後2時～3時半

会 場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：74人

春季企画展関連 文芸講演会（有料 500円）

テーマ：東京の會津八一「落合秋艸堂を中心に」

講 師：村尾誠一氏（東京外国語大学名誉教授）

日 時：令和6年5月18日（土）午後2時～3時半

会 場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：45人

夏季企画展関連 ①文芸講演会（有料 500円）

テーマ：「鐵齋・八一の文人世界」

講 師：野中浩俊（当館館長）

日 時：令和6年8月31日（土）午後2時～3時半

会 場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階） ※台風接近のため中止

夏季企画展関連 ②文芸講演会（有料 500円）

テーマ：「八一がみた中国古代金石」

講 師：横田恭三氏（花咲記念資料館館長、跡見学園女子大学文学部教授）

日 時：令和6年9月8日（日）午後2時～3時半

会 場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：86人

冬季企画展関連 文芸講演会（有料 500円）

テーマ：「自分の言葉を書く－會津八一と高村光太郎－」

講 師：住川英明氏（岐阜女子大学教授）

日 時：令和7年3月2日（日）午後2時～3時50分

会 場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：95人

① 「書の体験講座」 会場：ナレッジルーム（新潟日報メディアシップ6階）

第1回目：テーマ：「絵手紙」（有料 1,500 円）

講 師：高山久美子氏（日本絵手紙協会公認講師）

日 時：令和6年6月6日（木）午後2時～4時

参加者：22人

第2回目：テーマ：「年賀状」（有料 1,500 円）

講 師：田中藍堂氏（新潟県書道協会副理事長）、狩野芳明氏（新潟県書道協会事務局長）

日 時：令和6年11月15日（金）午後2時～4時

参加者：19人

第3回目：テーマ：「篆刻 - 方寸の世界にふれる -」（有料 2,000 円）

講 師：佐藤雄司氏（新潟県立新潟向陽高校教諭、小川貴史氏（新潟県立新潟東高校教諭）

日 時：令和7年3月8日（土） 午前10時～午後4時

参加者：24人

② 作品解説会

・新潟市會津八一記念館企画展＝講師：野中館長、喜嶋、湯浅学芸員

野中館長：令和6年5月26日（日）、7月21日（日）、28（日）、8月11日（日）、9月8日（日）、22（日）
12月1日（日）、令和7年2月16日（日）

学 芸 員：企画展会期中 第2、4日曜日 午前11時～正午

③ 八一さんのいしぶみ散歩

野中館長、喜嶋学芸員同行解説

日 時：令和7年3月22日（土）午後1時～4時 （令和6年11月2日雨天中止分の代替え）

コース：古町通（ルフル）～西堀通～西大畑通～南浜通～西船見町～旭町通～西堀通～古町 約4km

参加者：18人

④ 出前講座＝その他の団体主催による講演

・5月2日（木）講演：「會津八一の生き方～学規を題材に～」

会場：胎内市立中条小学校 5年生

講師：喜嶋学芸員 68人

・5月16日（木）講演：「會津八一の魅力」

会場：東京学館新潟学校 2年生

講師：湯浅学芸員 40人

・6月16日（日）講演：「會津八一と小川晴暘」

会場：奈良県立美術館 レクチャールーム

講師：湯浅学芸員 60人

・7月2日（火）講演：「會津八一の魅力」

会場：新潟県立新潟高校 2年生

講師：湯浅学芸員 350人

・9月26日（木）講演：「會津八一の生き方に学ぶ～学規を題材に～」

主催：三条市嵐南公民館（高齢者講座「さわやか大学」）

会場：三条市嵐南公民館

講師：喜嶋学芸員 27人

・10月10日（木）講演：「會津八一と短歌」

会場：新潟市立新潟小学校 5年生

講師：喜嶋学芸員 80人

・10月23日（水）講演：「會津八一と俳句」

会場：新潟市立根岸小学校 4年生

講師：喜嶋学芸員 21人

・10月29日（火）講演：「名誉市民 會津八一の魅力」

主催：新潟市高齢者福祉大学

会場：新潟市福祉協議会

講師：喜嶋学芸員 44 人

- ・ 11月21日（木）講話：「八一を知る 八一がわかる-独往の書の秘密-」について

主催：秋艸会

会場：瑞光寺

講師：喜嶋学芸員 30 人

- ・ 12月7日（土）講演：「新潟県近代美術館と會津八一」

主催：二葉アーツスクール「めだかの学校」

会場：新潟市芸術創造村・国際青少年センター

講師：湯浅学芸員 15 人

- ・ 12月16日（月）講演：「會津八一の魅力」

主催：胎内市（ヤマボウシ大学（黒川地区））

会場：胎内市黒川地区公民館

講師：湯浅学芸員 30 人

- ・ 令和 7 年

3月29日（土）講演：「會津八一の話」

主催：とよさか中高年教養大学

会場：北区葛塚コミュニティセンター

講師：湯浅学芸員 30 人

⑤ 18回秋艸道人賞写真コンテスト入賞入選作品 巡回展

会 場	開催期間	備考
1 いかるがホール（奈良県斑鳩町）	4月1～20日	入賞作品7点＋県外入選者
2 奈良県立図書情報館	5月14～26日	入賞入選30点
3 中村屋サロン美術館	6月12日～7月15日	入選入賞30点
4 三千院	7月23日～8月25日	入賞作品7点
5 高松市市民活動センター	10月3～30日	入賞入選30点、複製作品、浅井慎平作品3点
6 胎内市産業文化会館	11月22～24日	入賞入選30点、浅井慎平作品10点

（エ） 学習講座

- ・ 會津八一の歌を読む会 講師：若月忠信氏（文芸評論家）

砂丘館 毎月第1土曜日 受講者12人

（オ） イベント

- ・ 「會津八一の歌を映す」第18回秋艸道人賞写真コンテスト（総事業費2,467,716円）

公募期間 4月から11月（作品搬入11月1日～12日）

応募点数 135点（前回137点）

応募人数 87人＜県内65人 県外22人＞（前回93人）

審査委員 浅井慎平（委員長）、若松保広、村尾誠一氏の3氏

審査会 11月26日（火） 14時～17時 日報ホール

審査結果 秋艸道人賞に新潟県南魚沼市の江部堅市さん
奨励賞は7点（県内6人）、入選は23点（県内4人）

記者発表 11月27日（水） 午前10時半～

會津八一記念館会議室 浅井委員長、野中館長、水本事務長

授賞式 作品講評会＝令和7年2月9日（日）※大雪のため中止

（カ） 鑑定会

（経費223,640円）

春の部 令和6年5月30日（木） 総点数14点 認定数10点 収入430,000円

秋の部 令和6年10月24日（木） 総点数7点 認定数7点 収入280,000円

(カ) 新収蔵品

○寄贈 會津八一の墨蹟	14点
會津八一の書簡 (福田雅之助宛、杉本健吉宛)	5点
福田雅之助の書	1点
杉本健吉の書	1点
宮川寅雄の書簡 (杉本健吉宛)	1点

寄贈=合計22点

(キ) 販売活動

- ・「学規」割引セール 実施期間6年度(6年4-5月、7年2-3月)
額装6点 色紙3点 販売合計100,950円

(ケ) 広報活動

①新聞

〔新潟日報〕

＜記事＞39回(令和5年度・記事97回)※「おとなプラス」休刊のため、定期的な展覧会情報が大幅に減った

「展覧会へようこそ」3回、特別展「會津八一と大和路」作品解説3回(朝刊文化欄)

ほかに特集記事(特別展、写真コンテスト入賞作品紹介)、企画展や會津八一の話題、募集・お知らせ

＜広告＞88回(令和5年度145回)※「おとなプラス」休刊のため、広告掲載回数が大幅に減った

・企画展、特別展	72回<新潟日報朝刊>(令和5年度124回)
・「学規」販売広告	12回<同>(令和5年度20回)
・名刺広告	1回=新年名刺広告(令和5年度1回)
・鑑定会広告	1回(令和5年度1回)
・にいがたいっぽ	2回=クラウドファンディング

②テレビ、ラジオ

〔BSN新潟放送〕

○テレビ：特別展開連「BSNニュース ひるおび内ローカルニュース、ゆうなび」

令和6年10月29日(水) 11:49～放送「會津八一と大和路」開催中

○ニュースDIG：「TBS NEWS DIG」ローカルニュースで掲載

令和6年10月1日(火)～7日(月)

○CM：テレビ223本(令和5年度331本)

- ・9/10～9/30 「會津八一と大和路」告知 15秒(69本)
- ・10/1～12/8 「會津八一と大和路」開催中 15秒(154本)

ラジオ327本(令和5年度432本)

- ・9/10～9/30 「會津八一と大和路」告知 30秒(71本)
- ・10/1～12/8 「會津八一と大和路」開催中 30秒(256本)

ラジオ番組出演 1回(令和5年度1回)

- ・10/28(月)16時～16時25分「四畳半スタジオ」放送 松村雄基氏、角田勝久氏出演
(10月18日収録)

③〔新潟市〕

○市報にいがた 16回(令和5年度16回)

展覧会情報＝月1回全12回、イベント募集＝4回（市報にいがた別冊内）

○新潟市公式LINE 20回配信（令和5年度6回）

展覧会情報＝4回、イベント募集＝16回（講演会、体験講座、トークイベント、いしぶみ散歩、写真コンテスト講評会の募集）

（コ）開館50周年プレキャンペーン

○クラウドファンディング（CF）「にいがたっぽ」に応募

・プロジェクトタイトル

「記念館開館50周年を契機に會津八一を再認識してもらい次世代に語り継ぎたい」

・募集期間と目標金額、支援額

募集期間 令和7年2月1日～3月31日の2か月間

・目標金額 1,500,000円 1口5,000円～100,000円

支援件数 理事、評議員をはじめ、取引先、関連会社。団体、個人など84件

・支援金額 1,640,000円 達成率109%

※CFの枠組み外で、直接当館口座に振り込んでいただいた企業や窓口にお持ちになる方もおられ、支援額は合計2,000,000円余りとなった。

・返礼品 当館で販売している書籍、グッズ、額装「学規」等を発送

（サ）学校団体見学

26校＝320人＝中学校18校、高校8校、大学1校

（令和5年度＝30校346人＝小学校2校、中学校16校、高校12校）

4月12日	新潟市立南浜中学校	10人
4月19日	新潟市立関屋中学校	5人
4月27日	新潟第一中学・高校	9人
5月1日	新潟市立宮浦中学校	4人
5月9日	新潟市立曾野木中学校	4人
5月15日	新潟市立巻西中学校	6人
5月16日	新潟市立寄居中学校	5人
	新潟市立大江山中学校	5人
5月17日	東京学館新潟高校	41人
7月3日	新潟市立五十嵐中学校	23人
7月3日	新潟市立鳥屋野中学校	3人
7月5日	新潟市立小針中学校	5人
7月24日	埼玉県立大宮光陵高校	58人
7月31日	新潟県立新潟高校	7人
	新潟中越高校	11人
	東京学校新潟高校	7人
	新潟第一高校	11人
	北越高校	4人
	新潟県立新潟江南高校	5人
8月10日	専修大学	18人
9月18日	新潟市立新津第五中学校	4人
10月4日	新潟市立第二中学校	5人
10月11日	新潟明訓中学校	21人
11月13日	新潟市立白南中学校	39人
11月15日	新潟市立鳥屋野中学校	5人
令和7年3月11日	新潟市立石山中学校	5人